

<b>科目名</b> 検査と治療法概説Ⅰ（Ⅰ） 臨床検査	<b>授業担当者</b> 引地 悠	<b>所属</b> 秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座	
<b>開講時期</b> : 中期	<b>単位数</b> : 1単位	<b>時間数</b> : 30 時間(臨床検査 14 時間)	
<b>授業の目的</b> 基本的な臨床検査の目的と結果解釈を理解するため。			
<b>授業の概要</b> 臨床検査の概要の説明と、国家試験問題の解説を織り交ぜながら進めます。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 事前配布する国家試験問題を予習した上で、主体的に講義に臨みましょう。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	臨床検査の概要・尿検査	参加型講義 (指名有)	
2	血液検査、凝固検査	参加型講義 (指名有)	
3	血液生化学検査	参加型講義 (指名有)	
4	血液型検査、輸血検査	参加型講義 (指名有)	
5	呼吸機能検査、脳波検査、神経伝導速度検査	参加型講義 (指名有)	
6	心電図検査	参加型講義 (指名有)	
7	総まとめ	グループワーク	
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 検査と治療法概説Ⅰ 100 点満点中の 50 点			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります

<b>科目名</b> 検査と治療法概説 I (2) 放射線検査	<b>授業担当者</b> 大山 忠則	<b>所属</b> 中通総合病院 放射線課	
<b>開講時期</b> : 中期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 30 時間(放射線検査 8 時間)	
<b>授業の目的</b> 放射線検査についての基礎的知識を習得する。また、放射線及び放射線検査の特徴を理解する。			
<b>授業の概要</b> 医療において画像診断の必要性、重要性は益々高まっている。しかし、患者さんは放射線やその検査について少なからず不安を抱いている。それは放射線被ばくという問題や、検査の安全性に対する不安などが患者さんの中で納得できないからである。 看護師が、放射線に対する正しい知識をもって過度な放射線不安を克服することは、同じように不安を抱く患者さんへの正しい説明と、より良い看護の提供に繋がる。場合によってはあなた自身が放射線診療従事者の一員となる場合もあることから、検査や治療の特徴をよく理解する。 いつも患者さんの傍にいて患者さんのことを良く知る看護師は患者さんにとって、とても安心できる存在となる。授業で学んだ知識がその一助となることを期待する。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 事前資料に各授業で使用する PDF を配信する。教科書と PDF を併用して授業を進めていく。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	X 線診断と看護(一般撮影・CT 検査を中心に)	講義	
2	MRI・超音波と看護	講義	
3	核医学検査・血管撮影、IVRと看護	講義	
4	放射線検査の見学と被ばく防護 3 原則の演習	見学・実習	
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 検査と治療法概説 I 100 点満点中の 25 点			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります

<b>科目名</b> 検査と治療法概説 I (3) 放射線治療	<b>授業担当者</b> 加藤 勇人	<b>所属</b> 中通総合病院 放射線課	
<b>開講時期</b> : 中期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 30 時間(放射線治療 8 時間)	
<b>授業の目的</b> がん治療の 3 本柱の 1 つである放射線治療について学ぶ。また、放射線治療の副作用とその対処について理解する。			
<b>授業の概要</b> 放射線治療を受ける患者の看護に必要な基礎的な知識を得る。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b>			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	放射線治療総論(1)	講義	
2	放射線治療総論(2)	講義	
3	放射線治療と看護	講義	
4	放射線治療各論	講義	
	試験		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 検査と治療法概説 I 100 点満点中の 25 点			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります